

◎平成 26 年度弥生が丘自治会総会 報告◎

～ 新執行部 スタート！ ～

弥生が丘自治会の平成 26 年度総会が 4 月 20 日、弥生小体育館で開かれました。会員数 1,125 人（4 月 1 日現在）のうち、出席 161 人、委任状 813 人、計 974 人が参加、実に 86.5% という高い数字となりました。総会は和やかな中にも熱心な討議があり、予定時間をオーバーしましたが、5 議案とも原案通り承認され、弥生が丘自治会の新年度が始まりました。

司会は大桐浩司さん（4 丁目）が担当、福井裕会長に続いて、来賓の青野敬・三田市市民協働局地域支援課フラワータウン担当課長、弥生小の岡佳子校長があいさつした後、議長に萩野正樹さん（6 丁目）が選出されました。

平成 25 年度事業報告、会計報告、監査報告、事務局を総務部に改編するなどの規約改正、26 年度新役員、26 年度事業計画、会計予算などが原案通り承認されました。

今後の弥生が丘自治会の運営について、福井会長は「前年度からのモットーである《誰だって 助けてもらう 時が来る。出来る今 助け合える 喜びを》を堅持し、つながり・絆、安全・安心の視点で、互助・共助の活動を進めてまいりたい。ぜひとも自治会員皆様の温かいご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。」と話し、以下の点を強調しました。

- ・ 高齢化社会に適応し、女性のパワーをフルに活用した柔軟な対応に努める。
- ・ *No.841*の活動を強化し、班長の雑務を軽減させる。
- ・ コミセンを地域の触れ合いの場として、さらなる企画・立案を実施したい。
- ・ 今年度から自治会の役職経験者を相談役に迎え、組織全体を見直し、体制の強化を図って誰でも出来る自治会運営を目指す。
- ・ 班長、地区長の協力を得ながら、未加入者への加入促進に努める。
- ・ 会計報告の方法や書式を検討して、分かりやすい会計に改善する。

平成 26 年度の役員、地区長は次の通りです。（敬称略）

《会 長》福井 裕（4 丁目）

《副 会 長》武田幸郎（5 丁目）、長岡忠夫（2 丁目）、森山哲郎（3 丁目）

《書 記》喜田一裕（1 丁目）、小池 光（5 丁目）

《会 計》鈴木 幸（4 丁目）

《総 務》森山利恵子（3 丁目）、山口京子（3 丁目）

《執行役員》上野裕巳（3 丁目）、大桐浩司（4 丁目）、金子雅博（2 丁目）、
北浦弘也（3 丁目）、歳内浩三（2 丁目）、中澤和代（5 丁目）、
西田智子（3 丁目）、西中孝夫（3 丁目）、長谷川瞳（3 丁目）、
山口義武（1 丁目）、山科良一（4 丁目）

《相 談 役》赤松忠幸（5 丁目）、阪本藤朗（5 丁目）

《会計監査》宮脇道代（4 丁目）、山崎真仁（3 丁目）

以上